

turnthepage パッケージを試してみる

アセトアミノフェン

2015 年 1 月 11 日

CTAN の turnthepage パッケージの利用例です。

機能は、見開きで右にあたる奇数ページ下部（最後のページを除く）に

Turn the page.

というメッセージを表示するだけです。

ただし、英語・フランス語・オランダ語・ドイツ語しかサポートしていないため、この例では日本語化のため

```
\renewcommand{\turnthepage}{ページをめくりなさい。}
```

という再定義を与えています。

次のページになりました。

このようなパッケージは、例えば

- 試験問題で各ページに空白部分を設けた場合に、受験者に次のページにも問題があることを教える

という目的で用いることができます。

例えば、ここに問題文があるとします。

先ほどのページに余白が多いため、「ページをめくりなさい。」というメッセージがなければこのページに問題文があることに気づきにくくなってしまいます。

最後のページになりました。ここにはメッセージが出ないはずです。

注意：タイプセットは最低2回必要です。1回だけではページ数を取得できていないため、メッセージを出力すべきページを判断できていないためだと思われます。